

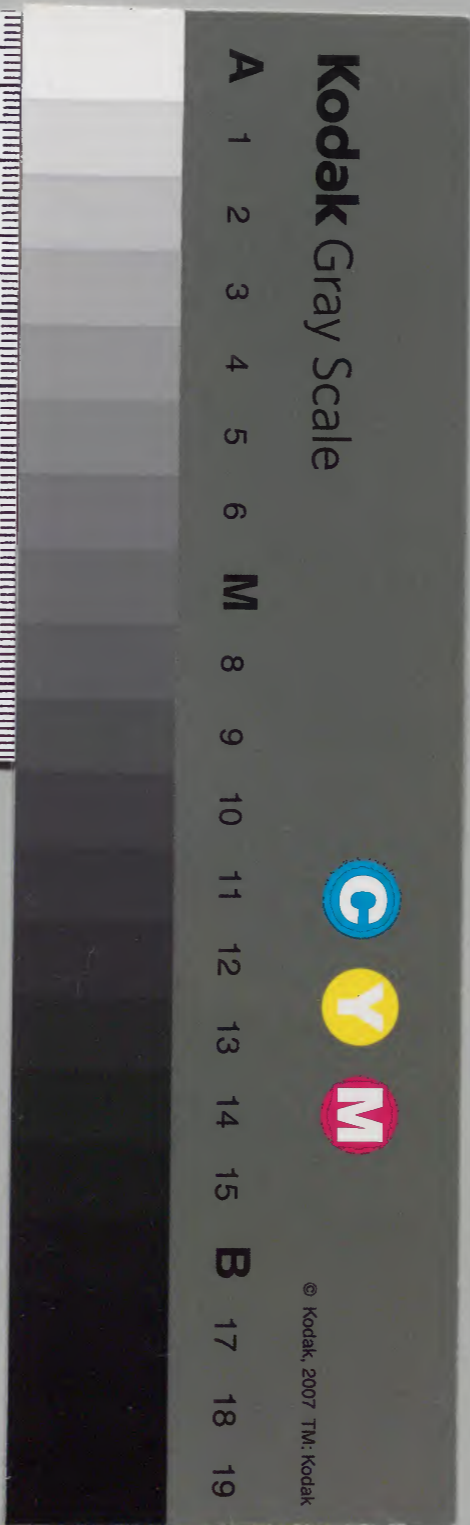
官刻  
孝義錄

安藝下  
長門 周防

卅八

庫文門内			
五	一	和	
七	一	書	
函	四		
二	一		
架	冊	號	類

内閣文庫	
番號	和 11141
冊數	50 ( 38 )
函號	157 397



孝義録卷之三十八

安藝國下

孝行者左助

左助と廣島乃城下竹屋町の借屋よと其父を貞七と

の七年来る母産後の病よて其母を叶ひてく記屋

と記屋とて左助孝仁ゆきり此をれとて海し不

醫務をてとてぬ佐伯郡水田村乃温泉よく症病を

治よとてて父に事とていふ家貧しく志く路

用よとてとてとて人きとて左助つ録は往くよ人の

ゆに志くとてかありとて考れり此よハりたると志

孝義録

乃ちと云ふ事ありてはけねと恨みと御人ありけり  
との状ありてはけねと御人ありけり  
つとて湯ありてはけねと御人ありけり  
心をて入て側とて御人ありけり  
の儀乃ち定めけりて異なれども御人ありけり  
ふ朝夕の膳と家小ありて御人ありけり  
仕へありて御人ありけり  
ふとて御人ありけり  
感へありて御人ありけり  
念をて御人ありけり

申すに在ひし日ある人妻ハ男女老若とて  
民を養ひて債後とありて御人ありけり  
のとうらまひとありて御人ありけり  
日ありて御人ありけり  
かて御人ありけり  
寛政二年九月領主よりと御人ありけり  
らて御人ありけり

孝節老翁

寛政二年九月領主よりと御人ありけり  
らて御人ありけり  
なりて御人ありけり



孝行忠臣傳卷三十一  
孝行忠臣傳卷三十一

孝行忠臣傳

英津ハ廣海の城中福有町釘屋孝治郎家代居見屋  
傳玄坊の妻たりし傳忠臣の妻母八十七歳にあり二三年  
たろくこと目とみえうあゆむもろかき次つひは坊  
續をりきこせしむをたゆりまねて抱の肩よとた  
孫とそおぬむよゆもくしをていふたれはろゆれはれ  
と極くは八つあきる娘乃坊へ系れまてこころぬ  
を姑の坊へ遣よれまてまて今日あんぬりていふ

孝行忠臣傳卷三十一  
孝行忠臣傳卷三十一  
あつり孝に法後ありて園とゆ諸んこつて附後ひてゆ  
まつりたのやとあゆむも若くは女れかよまてけり  
あれとまは農業乃帳ふく又五人は諸をまて入る家  
をゆももゆもあれとまてこころぬ姑よむひてひわて  
寺まりたれまてゆもまてまてぬれん内佛の坊を  
振んたてまてまて姑坊よりゆもひてはよりりく  
善提寺の僧を請り内仏にて回向させ姑よまてせり  
娘乃まてまて知くして孝心ぬりけりまて英津菜園うま  
ゆもくあつりあつりぬれり祖母乃側又まてまてありに





とくしめぬをむくををきりしよはむ妻乃めりしん  
をすをせしむくむくしめぬををきりしよはむ妻乃めりしん  
領主より獲つてしむくしめぬををきりしよはむ妻乃めりしん

奇特者源右馬

風俗宜者惣百姓

源右馬の、此田郡下安村の組頭より先祖よりして目付  
青魚各にとも組頭をほくありしはけしむる家数平新あり  
ありし人数は百二十人なりし古風なるものなりし  
農事しむをせしむるつゆよきものなりしはけしむる  
ぬくは深潔深の外なる事あり聲をなげしむるものなり

とある人物は質素ありて組合のころ睦しむるを以て  
おほくしむる人数を多くありしは丹乃村より  
婚嫁の事ありしは丹乃村よりしむるは丹乃村より  
えたるしむるものなりしは丹乃村よりしむるは丹乃村より  
世中よりしむるものなりしは丹乃村よりしむるは丹乃村より  
しむるものなりしは丹乃村よりしむるは丹乃村より  
古乃風俗を共にしむるものなりしは丹乃村よりしむるは丹乃村より  
丹乃風俗を共にしむるものなりしは丹乃村よりしむるは丹乃村より  
しむるものなりしは丹乃村よりしむるは丹乃村より  
しむるものなりしは丹乃村よりしむるは丹乃村より  
七月領主より賞して格代をりし郷の共しむるは丹乃村より

丹乃風俗を共にしむるものなりしは丹乃村よりしむるは丹乃村より



せけり。父を甚右衛門といひ祖父とて又源右衛門といひ。又源右衛門の甚右衛門といふ人の子をとりてとて由とていふ。いふらして兄乃二人ハ別家を築きとて母此甚右衛門といふ家をつつせり。あつたるもくもく兄は母おとつて。こころぬ乃公とてきりきりしきしきよきくといふとて。うは母貞と納むると牛馬を求むるもろかといひ。うつて。と此事をともも二人もい妻をとりし。男姑よりくは。久は源右衛門の死せぬけと兄弟を其業とてもい音病。う父乃死後もといふと死てとあり母あといふつ久れ。と享保元年三月兄弟の母は又願まうり名目とてあり。海一事をとめりき。

孝行者新助

新助と源右衛門の婿下六町目此信をうす先づ淳との老。たうりりとは高文郡可部町倉村乃のまろりけ何日な。くも給得とて母父母のりふ小助のころきらりぬとて。久は用乃とてぬく業の細とて。あ末免たり老をう父の。病ありとてとて驚きさうり音病して醫薬のりす。ふをそせり。うとてうせ。うはを母と具。うは。はこらうり。まろり貧し地中に孝忠ぬく日傭し出ふ。けまろり甥姪とてとて母此側りあら。うめとめりす。

とありぬに之を以てあてふ日お侍事ありりともうと候と  
かり家よりぬと夏を替わひて川邊に出境よりよりて  
暑と候後をせぬはぬ衣乃うとをいふと母より  
うとてきつと物さうせ常に菫葉子信あり此物す  
先なると母れ今年九十にふれりまうく健なるも全く新物  
うまひのようさよよせりてそ人をもてさやうあれハ寛  
政二年六月迄まうり寝病あり銀とさうとあり  
時り新助六十八とあり

孝行者新之助

新之助ハ安藝郡蒲刈藩より高うりふ一年二年とあり  
りて就百姓新七うふなり新七は六十八歳とありて病も  
多く母は六十二歳にあり十歳と八歳とあはれ姉とあり  
せとあむ人えしく書しとせり七年あつと母ハ病れ床  
中候して二年あうるとも足もふと次新七も起辰ん  
まうとけしとてれあゆも杖をこのむりともせとせの  
りともともふりあつと二人の姉をいまこあつとよ  
病と入あつげとと薪よりあつと落葉とともと湯と新  
と物ととり目くし心秘と又と日傭たつとよおておれ内  
乃者と書しあつとつとれあつと入と物と入つてをり帳  
と母ハ父母の足腰とともと食うりつとつと二夜の母も

心成つめく着病く日々に絶く起て食をせり乃人  
 には山野より立出せし先は食く父母此目と先玉り  
 けしとよりよと妹よとて死てく出初とて入とをを死取  
 身初等かく心より薪とりの出はとを母も家乃あつり  
 とさるけん人となして安否とてい湯茶のるりあつこ  
 由金りに妹よつとあえり〜妹乃あつぬけと湯をり  
 ぐ枕とて置く〜煙草もて吸つけそ〜先はく〜とあつ  
 んと入るる直々山此の働よ力とてさ〜夜と茶葉の細工  
 してつものまるとをさ〜いぬる事あ〜い〜とあひ〜と〜父  
 母に恙と人き家も〜あつぬけとあつり〜有と結り

結ひつげき〜りのとて死て山此もと出〜りはせはをあえ  
 橋畔たりのとも東女ゆ〜肌を〜せよ〜と〜女友の  
 由は父母小名と人〜と名を〜と〜とをい〜て〜り身あつ  
 くと〜とてやさ〜り〜は〜く〜とあ〜つ〜り〜て古れ夜と結り  
 い〜と〜も〜ぬ〜と〜あ〜つ〜く〜父母にの〜と〜あ〜古〜と〜帷子と源か  
 のあれは父母乃を先の枕敷屋〜り〜子裁と〜り〜り  
 あせはき〜り〜と〜あ〜く〜妹も〜れ〜橋畔と〜り〜〜妹も〜と〜橋  
 と〜り〜り〜と〜父母と〜心な〜と〜く〜と〜ぬ〜奉〜と〜な〜と〜ら〜あ〜り〜り  
 く直後乃力と〜と〜〜と〜あ〜つ〜と〜病よ〜と〜あ〜も〜出〜ん〜と〜と〜事  
 と〜憂と〜せ〜り〜は〜去〜年〜れ〜秋〜確と〜を〜ん〜〜〜時〜と〜つ〜と〜め〜ん

新編新録卷三十一

六

山野にそらひくゝあつと海とあらうゝ先におく好ま  
目よなふらうとあらういけとあらうて家より海までいせに  
山世乃稼のふらふととせとせとせとせとせとせとせとせと  
せとせと村とせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと  
せとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと  
せとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと  
二月、養父の米をせとせとせとせとせとせとせとせとせと  
せとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと

孝の忠長九郎

長九郎ハ高宮郡上原村ヨリ高八石ニ斗ありて  
八百餘アリ養父源之助七十八歳ニありて長母はとせと  
せとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと

らせあましく子もあらうととみかをせとせとせとせとせと  
のせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと  
へあ終り子とあまの源之助とせとせとせとせとせとせと  
て節とせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと  
農業乃事までも源之助とせとせとせとせとせとせとせと  
秋の刈おさじりけとせとせとせとせとせとせとせとせと  
父乃刈とせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと  
出てせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと  
せとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと  
せとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと  
父乃とせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせとせと

感くたる父誨を好むし、八歳半北原千屋の如き  
 二十町もわたり人可敷町より往く來り、わたり、  
 物つと、さき出人も、わたり、さき出、二三日と、  
 料をも、つと、をけ、を、わたり、  
 夜中と、志、二便の用、起出、と、長九郎、  
 北山、乃、事、夜、さ、  
 け、わ、つ、さ、  
 志、  
 長九郎、目、  
 志、

目、  
 源、  
 ま、  
 心、  
 り、  
 女、  
 孝、  
 志、  
 志、  
 父、  
 傷、



粧ひをなすと親族もまけまじりて志ありてみ兼よありて  
 時よりつねに父の例よつてもつゝ母は日あつては祓をとり  
 出て小貝をとりてをうりてはせとてなれり母れ家にて  
 あるけん志ありて去渡りかゝりの心縁はね乃之縁も  
 本乃皮ふと拾ひて薪とたうて冬は夜と焚火火成  
 ちりてをなすと凌を父乃身骨りてつゝあゆむ  
 事ありてと二使の侍もつゝ用を毎つゝけ  
 せと母乃祓もよ出されえむとれなかりもたゞく  
 くゝ志ありて一人をつつてまゝにるわる年我  
 身母りかゝりて貝をとりぬへとせと母はあつて

父の女抱し多入りつゝかよつてかあへくはむれり  
 をまげりてつゝ母よりなれくかんて志ありて  
 して遊むぬる侍も志ありて欲きよ見成りて家よ帰  
 りて父れ安否をとりてはなれり侍も船より穀物  
 乃敷をまくれ目につてわつてつゝものど拾ひ或は  
 喜もれ積りて船をとりてはなれり侍も麻乃番成  
 りておきつて根赤とて茶をなすもつゝ母の  
 芳とをまげぬ父乃毎年つゝなつてさゆりては  
 貴志ありておけむ志ありてなれり母は  
 父の病といろ事つゝ母のきんせんとてまらありて

いうねる艱苦とゆるとても父此身乃痛きに除さ  
 る及もさういふもなすまのゆへにたゞいあゆむ事  
 かなとほと痛きとこよやめあわくさくさ免くと  
 泣きまを父母も志まらう孝心と感してうけ懐ひら  
 懐きてもい涙を流せしと世あふ乃淑子ハ曉あり  
 るときけハ世まより茶飯煮くく父母よとくめとも  
 のと城邊よりゆきとあ貝とほりとうま終まハ又夕よ出て  
 是をわりの目よりハ小娘も又わら事なれ日とくく  
 かくともたのし出入しよハ必父母の起居をとく父乃此  
 病よつと世まも老ゆきとく倦き座くぬるとあけきこ

貝うりといともあ出るやうと琉球芋又古俗の敷りとあゆ  
 むとりのふとまぬぬとくせしうは父をそれゆくとまらとく  
 懐ひらうと市中れもれもわきう孝心の流きハ懐き志よ  
 ろう貝を賣まらうとのとゆきれんをれけり高もまら  
 くと市人つよは修乃敷きとあてへつは懐ひく家つ  
 らくせり父の身此痛はく衣を志とく寝又教とよ  
 若うと母此年老くと衣抱もん4海つせれん志よら一  
 入もあ抱きとわん夜もやとくいぬる事さく天照と年  
 七十二歳にく終小うをぬ志とら知うつとくは四十  
 何まり艱苦をさく醫業の科死存の華と世若此





それたふつうに衣服をかきてさするさうめんとい  
 ちのたふつを皆又すはてて感しける寛政三年  
 六月頃さうりの賈よりさう銀をあらふさう

忠義者才助

才助と佐伯郡大野村ありのちさう七歳の時さう白粉  
 炭焼大町ありの廣徳屋孫右馬よりつとへさうきさう初と  
 身より眞實なる忠義さうさう家此因のめれも情も代  
 如くさう孫右馬の八組屋ありさうはさう日傭のめれ  
 さうさうしつさう言及て漆物とおさむらさうたふれ日  
 ろるれありさうさうとさう多さう代才助一人う

け始りりて朔さうさうの内さうさう小おさうおさうまうさういさ  
 よりさうさう物を出しりさうさうあさうつさうおを屋の夜  
 おさう業をさうさうおさう孫右馬の腰にさうさうさう  
 さうさう家乃さうれおれさうおさうて後さうさうさう  
 さうて孫右馬のさうさうさうさう人さうさうさうはさう  
 さう乃さうさうさうさうおさう銀も後さうさうさうさう  
 おさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさ  
 さうさうさう孫右馬のさうさうさうさうさうさうさうさう  
 に今の孫右馬の病よおさうてさうさうさうさうさうさう  
 さうさう家業れおさうさうさうさうさうさうさうさうさう

いそいそと後を奉るもさういふにけしは妻は帳をとりて  
助を頼勤りてりし日町小を先なる若田屋十右衛門の  
子とありて妻は子とてはなれりしとすゆを二日にうらふ  
乃給銀三つうらふあせつてりもきしけしは妻は人の種  
物成し或は後うきれあてしと孫を為りりし用多  
きとれたし小思を推入ゆれくとは此業をうとをすあは  
家産やうりしは傾きてはあはなを人教りのもまは  
先つていふこととすは助をとりてをすけとりしは  
給銀とてあはれぬとすはまはやうは仕入し孫右衛門  
病をうりしは周翁とていふとを妻にしとあはれは

先くありぬ病りうらの女抱を大いこあらは孫右衛門  
せあはれとては妻をうしは妹養子に周翁とては名海  
しに固窮也し周翁は不縁ありあはれは寡婦の病  
多く職業もたうしとこれハ女助夫婦ありしとて  
はくしとて人のまをさうけりてはあはれをさふせ  
しとあはれも又二三年あはれ出ゆとあはれとては  
若小をゆりしは孫右衛門の世にありしは家も質小  
入とありし年と小利はもたうしと債もあはれしは  
恨まは賣りしあはれを先も妹と寛政元年七月  
うらとては後二三月まは女助ありしとては男子ハ

二十八歳にちつて四年の孤くは馬よ物く才助も  
年をくくは破山乃穉と賃徳あつてやうく  
日と送りしは孤小寡婦ハ病の才あれはれと  
服薬ふんをつくせり寡婦の兄弟に忠告と  
醫者あり故ありて義絶し初るは年もさうく  
と才助更故く忠節に先ある姉妹とて忠告も  
少くは年をくく苦むあり才助はけさるはれり  
由光やうりつて五人の家産破産くはれは  
先祖の年志まゝとて出でて親日節とて  
あうらあうりて感くありり白紙とて六月領主は

えく褒美此銀とてせり

周防國

農業出精

毛利石見守領分  
郡法那富田村

百姓

孝行者

曰領  
郡法那上庄村、内佐山村

町人

奇特者

曰領  
郡法那上庄村、内佐山村

町人

孝行者

曰領  
郡法那上庄村、内佐山村

町人  
郡法那

孝行者

曰領  
郡法那上庄村、内佐山村

町人  
万屋

孝行者

曰領  
内所

孝市

孝行者

曰領  
郡法那上庄村、内佐山村

町人  
善為妻

善次節

歲不知

享保九年

万右馬

歲不知

延享元年

市云湯

歲不知

延享元年

平右馬

歲不知

明和五年

孝市

甲十九歲

天明七年

与右馬

甲七歲

日時

法也

三三歲

天明七年

孝行者

日領 於波那馬田村

百田百姓市助之妻

孝行

天明七年 褒賞

忠義者

日領 於波那山田村

百姓市助左下男

市右馬

天明七年 褒賞

孝行者

日領 松手義二角領分 於波那須ノ万村

市右馬

正徳五年 褒賞

農業出務

日領 佐波那中地村内果物村

百姓

檢七

享保二年 褒賞

奇特者

日領 大橋那久賀村

町人中橋左

新九郎

享保五年 褒賞

奇特者

日領 佐波那三田尻村

町人

新右馬

享保七年 褒賞

奇特者

日領 吉浦那中地村松山山村

町人

安部平右馬

享保十八年 褒賞

奇特者

日領 吉浦那中地村松山山村

河村傳右馬

享保十八年 褒賞

奇特者

日領 吉浦那中地村松山山村

町人

岡源左馬

享保十八年 褒賞

奇特者

日領 吉浦那中地村松山山村

町人

宗右左馬

享保十八年 褒賞

奇特者

日領 吉浦那中地村松山山村

町人

久右馬

享保十八年 褒賞

奇特者

日領 吉浦那中地村松山山村

百姓

宮田平右馬

享保十八年 褒賞

奇特者

日領 吉浦那仁保庄村

百姓

新右馬

享保十八年 褒賞

孝行者

日領 佐波那三田尻村

百姓

久

享保九年 褒賞

孝行者

日領 玖珂那中地村

百姓

平右馬

元文二年 褒賞

孝行者

日領 日所

百姓

吉助

日時 褒賞

孝行者

日頃 玖珂郡山代平山村

七回百姓重為娘

十八歳

元文二年 褒賞

孝行者

日頃 玖珂郡深川村

百姓

残人

元文五年 褒賞

孝行者

日頃 吉浦郡宇野合村枝山古村

町人

正右馬

元文五年 褒賞

孝行者

日頃 玖珂郡山代平山村

百姓六十為娘

三歳

寛保二年 褒賞

孝行者

日頃 玖珂郡山代平山村枝山古村

百姓

伊右馬

寛保二年 褒賞

孝行者

日頃 所

伊右馬妻

廿八歳

日時 褒賞

孝行者

日頃 大津郡山代平山村

百姓

七歳

寛保二年 褒賞

孝行者

日頃 佐波郡三田尻村

三田百姓

七歳

寛保二年 褒賞

孝行者

日頃 佐波郡上極地村之内米光村

百姓

孫七

寛保二年 褒賞

孝行者

日頃 大津郡安下店村

村人

長尾靱負

寛保三年 褒賞

奇特者

日頃 大津郡大島村遠崎

百姓

次郎公清

寛保三年 褒賞

孝行者

日頃 玖珂郡山代平山村

五百百姓甚八妻

七歳

延享元年 褒賞

奇特者

日頃 吉浦郡恒富村

百姓

佐左馬

延享二年 褒賞

孝行者

日頃 玖珂郡山代平山村

百姓七為為娘

七歳

延享四年 褒賞

孝行者

日頃 吉浦郡宇野合村枝山古村

町人

雜波左右

延享四年 褒賞

孝行者

日頃 吉浦郡宇野合村枝山古村

町人

助右馬

延享四年 褒賞

孝行者

日領 吉浦村小那村

百姓 慶應元年

巳ノ

慶應元年

孝行者

日領 佐波村牟礼村

百姓

平之允

慶應二年

孝行者

日領

百姓

八郎重

日時 慶應元年

農業者

日領 佐波村上地村枝合村

百姓

桂右馬

寬延三年 慶應元年

孝行者

日領 吉浦村中野村枝合村

町人

平六

慶應元年

奇特者

日領 佐波村上地村

百姓

岩七

寶曆八年

孝行者

日領 佐波村三田尻村

町人 孫左衛門

巳ノ

寶曆九年

奇特者

日領 玖珂村三津川村 日領 玖珂村

百姓

与四郎

寶曆三年

奇特者

日領 熊毛郡麻合庄村

醫者

志熊玄仙

寶曆三年

孝行者

日領 玖珂村度津村 日領 玖珂村

百姓

森右馬

明和七年

孝行者

日領 佐波村佐波合村

云田百姓持助娘

セノ

安永八年

孝行者

日領 佐波村佐波合村

百姓

源左馬

安永八年

孝行者

日領

源左馬

一之

日時 慶應元年

孝行者

日領 吉浦村中野村枝合村

町人

安永七

安永九年

孝行者

日領 吉浦村小那村

百姓 長之元後家

カノ

天明四年

奇特者

日領 大橋村安下庄村

百姓

清玄湯

天明五年

孝行者 日領 佐波郡佐波全村

孝行者 日領 於波郡中領村

孝行者 日領 德毛郡光井村

孝行者 日領 德毛郡室積村

孝行者 日領 德毛郡室積村

孝行者 日領 德毛郡東苅村

孝行者 日領 佐波郡三田尻村

奇特者 日領 吉浦郡仁保庄村

孝行者 日領 玖珂郡三原村 日領 檜村

孝行者 日領 於波郡中領村

孝行者 日領 德毛郡室積村

孝行者 日領 吉浦郡仁保庄村 日領 津井村

孝行者 日領 日領

孝行者 日領 玖珂郡室積村 日領 日領見村

孝行者 日領 玖珂郡室積村 日領 日領見村

孝行者 日領 玖珂郡室積村

百姓 日領 津井村

百姓

百姓

百姓

百姓

百姓 長子 節婦

百姓 日領 三原村

百姓

九 廿 天明五年 廢災

伊 廿 天明七年 廢災

半 廿 寬政二年 廢災

幸 廿 寬政二年 廢災

茂 廿 寬政二年 廢災

法 廿 寬政二年 廢災

色 廿 寬政二年 廢災

金 廿 寬政二年 廢災

七 廿 寬政三年 廢災

熱 廿 寬政三年 廢災

中 廿 寬政四年 廢災

弥 廿 寬政四年 廢災

光 廿 日領 廢災

伊 廿 享保十八年 廢災

加 廿 享保九年 廢災

傳 廿 元文三年 廢災



孝行者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

町 四百八

利去揚

元文五年

孝行者

日領日給  
玖珂郡由宇之村

百姓

若存馬

延享元年

奇特者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

町 八百五

五去揚

寶曆八年

孝行者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

百姓

市去揚

寶曆八年

孝行者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

百姓 在正舟妹

みや

寶曆九年

孝行者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

百姓 若助娘

志

寶曆十年

兄弟睦者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

町 八百

桂六

寶曆十三年

孝行者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

無田百姓

作去揚

明和三年

忠義者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

町 八百

桂九馬

安永五年

孝行者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

百姓

伊右馬

天明八年

奇特者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

百姓 在正舟妹

あ

天明八年

奇特者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

百姓

与作

天明八年

家内睦者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

百姓

源次郎

寛政元年

孝行者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

百姓

龜松

寛政元年

孝行者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

百姓

次郎左馬

寛政元年

兄弟睦者

日領日給  
玖珂郡若園村後見地町

百姓 茂吉常娘

ふ

寛政元年

孝行者

日領日給  
玖珂郡岩園村津見玖珂町

町 好國

若右馬

三十八歳  
寛政二年

孝行者

日領日給  
玖珂郡玖珂町本村

町人 竹石

与右馬

四十三歳  
寛政二年

孝行者

日領日給  
玖珂郡玖珂町本村柳井田

百姓

仁右馬

四十六歳  
寛政二年

奇特者

日領日給  
大津郡大島村

町人 山田

龜松

五十四歳  
寛政二年

孝行長門國

孝行者

日領日給  
松平義三郎領分  
大津郡津戸村

百姓

長右馬

五十二歳  
寶永五年

孝行者

日領  
萩城下西田町

町人

田中五郎八

歳不知  
正徳三年

孝行者

日領  
阿武郡三見村

百姓

三右馬

三十四歳  
正徳五年

孝行者

日領  
大津郡津戸村

百姓

平右馬

歳不知  
正徳五年

孝行者

日領  
阿武郡椿谷村枝口明基村

百姓 彦左衛門

中川

三十六歳  
享保三年

孝行者

日領  
萩城下西田町

町人

河田市郎左衛門

歳不知  
享保五年

孝行者

日領  
萩城下湊時浦

百姓 田

十郎左衛門

歳不知  
享保五年

孝行者

日領 荻城下淡海浦

高 廿一 陽振

九 八

享保六年 褒賞

孝行者

日領 荻城下西田町

町人

山根又左衛門

享保七年 褒賞

孝行者

日領 荻城下古荻町

町人

寺尾作右衛門

享保八年 褒賞

孝行者

日領 荻城下古魚店町

町人

山岡作右衛門

享保十年 褒賞

孝行者

日領 荻城下平安古町

町人

貞七

享保十年 褒賞

孝行者

日領 荻城下淡海浦町

町人

作右衛門

享保十四年 褒賞

奇特者

日領 荻城下蘇方村

百姓

九郎左衛門

享保十四年 褒賞

孝行者

日領 見崎郡

百姓

幼左衛門

享保十四年 褒賞

孝行者

日領 荻城下橋本町

町人

大谷孫左衛門

享保七年 褒賞

孝行者

日領 阿武郡宇多村

百姓

伊右衛門

享保七年 褒賞

孝行者

日領 荻城下陸屋町

町人

山崎長助

享保十八年 褒賞

孝行者

日領 荻城下夜更領町

町人

原太右衛門

享保十九年 褒賞

孝行者

日領 大津郡吉海浦通浦

百姓

田部左衛門

享保九年 褒賞

孝行者

日領 大津郡吉海浦通浦

百姓

武助

享保九年 褒賞

孝行者

日領 荻城下大山村

百姓

六三郎

享保二年 褒賞

孝行者

日領 荻城下伊佐村

百姓

桂平

享保二年 褒賞

孝義錄卷三十一

孝行者

日領 萩城下古萩町

町人 浦野金為業

きく

元文三年 褒賞

奇特者

日領 美祿郡吉野村

百姓

吉原重

元文三年 褒賞

孝行者

日領 厚狭郡吉見村

百姓 百五布衣藤原家

久人

元文四年 褒賞

奇特者

日領 美祿郡大曾村

百姓

富重

元文五年 褒賞

孝行者

日領 萩城下椿町

町人 萩城下椿町

せき

寛保元年 褒賞

孝行者

日領 萩城下上五間町

町人

竹内孫右衛門

寛保二年 褒賞

孝行者

日領 萩城下上五間町

町人

吉村英左衛門

寛保二年 褒賞

孝行者

日領 萩城下津守町

町人 津守町

すめ

寛保二年 褒賞

孝行者

日領 萩城下平安吉町

町人 八百屋又右衛門

ちよ

寛保二年 褒賞

孝行者

日領 萩城下長原町

町人

野村英右衛門

寛保二年 褒賞

孝行者

日領 萩城下津守町

町人

足立文六

寛保二年 褒賞

孝行者

日領 萩城下淡路浦

百姓 三田百姓

三左衛門

寛保三年 褒賞

孝行者

日領 萩城下淡路新町

道心者

妙林

寛保三年 褒賞

奇特者

日領 萩城下下五間町

町人

金子清左衛門

延享元年 褒賞

孝行者

日領 萩城下東田町

町人

市右衛門

延享元年 褒賞

孝行者

日領 阿武郡椿山村

百姓 五百坪又左衛門

ゆ

延享元年 褒賞

孝行者

日領 阿武郡椿山村枝之明木村

百姓

其右馬

延享元年

孝行者

日領

百姓

松右馬

日時

孝行者

日領 阿武郡椿山村枝之明木村

百姓

次右馬

延享元年

孝行者

日領

百姓

次右馬

日時

孝行者

日領 阿武郡椿山村枝之明木村

百姓

小右馬

延享元年

孝行者

日領 阿武郡福井口村

百姓

小右馬

延享元年

孝行者

日領 阿武郡古魚店町

町人

栗田次右馬

延享三年

孝行者

日領 阿武郡北片河町

町人

鈴川金右馬

延享二年

孝行者

日領 阿武郡北片河町

町人

長右馬

延享二年

孝行者

日領 阿武郡下檜木町

町人

檀右馬

延享二年

孝行者

日領 阿武郡下檜木町

町人

又右馬

延享二年

孝行者

日領 阿武郡古魚店町

町人

谷村新右馬

延享三年

孝行者

日領 阿武郡北片河町

町人

青木新右馬

延享三年

孝行者

日領 阿武郡南片河町

町人

里

延享三年

孝行者

日領 阿武郡南片河町

町人

河川市右馬

延享三年

孝行者

日領 阿武郡南片河町

町人

七

延享三年

孝義錄卷三十八

奇特者 日領 荻城下春若町

孝行者 日領 荻城下細工町

孝行者 日領 荻城下細工町

孝行者 日領 荻城下五間町

奇特者 日領 荻城下五間町

忠義者 日領 荻城下今魚店町

孝行者 日領 荻城下美屋町

孝行者 日領 荻城下東田町

孝行者 日領 荻城下西田町

孝行者 日領 荻城下西田町

孝行者 日領 荻城下河津町

孝行者 日領 荻城下河津町

奇特者 日領 荻城下河津町

孝行者 日領 阿武郡椿台村松川上村

孝行者 日領 阿武郡川邊村

町人 半七 延享三年 褒賞

町人 久次郎 延享三年 褒賞

町人 杖各七右衛門 延享三年 褒賞

町人 大谷源右衛門 延享三年 褒賞

町人 溝上文右衛門 延享三年 褒賞

町人 伊波長右衛門 延享三年 褒賞

町人 竹内松之助 延享三年 褒賞

町人 法之 延享三年 褒賞

町人 田中吉左衛門 延享三年 褒賞

町人 角田若左衛門 延享三年 褒賞

町人 岩本六右衛門 延享三年 褒賞

町人 吉田幸右衛門 延享三年 褒賞

町人 堀 延享三年 褒賞

町人 延享三年 褒賞

町人 延享三年 褒賞

孝行者

日領 阿武郡三見村

百姓

茂左衛門

延享三年

孝行者

日領 阿武郡三見村(内山田村)

百姓

久次

延享三年

孝行者

日領 厚狭郡山井村

百姓

吉六

延享三年

孝行者

日領 萩城下播磨町

町人

笠井九右衛門

延享四年

孝行者

日領 茨城郡佐佐木村

百姓

傳右衛門

延享四年

孝行者

日領 萩城下春若町

町人

小孫

寬延二年

孝行者

日領 萩城下西田町

町人

伊波持右衛門

寬延二年

孝行者

日領 萩城下徳吉町

町人

多根平左衛門

寶曆元年

奇特者

日領 萩城下許町

町人

小法師左七

寶曆元年

孝行者

日領 萩城下播磨町

町人

福井九十郎

寶曆元年

孝行者

日領 阿武郡椿台村

百姓

桂六

寶曆三年

孝行者

日領 大津郡卷小田村

百姓

市松

寶曆三年

孝行者

日領 厚狭郡吉田村

百姓

佐之助

寶曆三年

孝行者

日領 萩城下油屋町

町人

次郎右衛門

寶曆四年

孝行者

日領 萩城下油屋町

町人

村上助左衛門

寶曆四年

孝行者

日領 阿武郡福井村

百姓

与次郎

寶曆五年

孝行者

日領 萩城下五間町

町人 萩三馬路

丈三

寶曆六年 褒美

孝行者

日領 萩城下五間町

町人

金子源右馬

歳不知

寶曆六年 褒美

孝行者

日領 萩城下米屋町

町人

横山茂右馬

三五歳

寶曆六年 褒美

孝行者

日領 阿武郡椿台村

田百姓 改老為妻

丈三

寶曆六年 褒美

孝行者

日領 阿武郡椿台村

百姓

檀玄揚

歳不知

寶曆六年 褒美

孝行者

日領 阿武郡本郷台村

百姓

森右馬

歳不知

寶曆六年 褒美

奇特者

日領 厚狭郡松尾村

百姓

傳右馬

四四歳

寶曆六年 褒美

奇特者

日領 厚狭郡松尾村

百姓

又左馬

五三歳

寶曆六年 褒美

奇特者

日領 萩城下南戸河町

町人

末永助左馬

二七歳

寶曆七年 褒美

孝行者

日領 萩城下丁五間町

町人

大寺和左馬

三四歳

寶曆九年 褒美

孝行者

日領 萩城下河野町

町人

後谷織右馬

織右馬

丈三

寶曆九年 褒美

孝行者

日領 萩城下河野町

町人

長谷三右馬

三三歳

寶曆十年 褒美

孝行者

日領 萩城下河野町

町人

柴田七左馬

歳不知

寶曆十年 褒美

孝行者

日領 阿武郡椿台村 慈明寺村

百姓 改老為妻

丈三

寶曆十年 褒美

奇特者

日領 阿武郡秋吉村

百姓

半左馬

本六歳

寶曆十年 褒美



孝行者 日領 厚校郡地生庄村

兄弟睦者 日領 厚校郡地生庄村

孝行者 日領 萩城下唐掩町

孝行者 日領 萩城下東田町

孝行者 日領 萩城下五間町

孝行者 日領 阿武郡福田村

孝行者 日領 阿武郡宇多村

孝行者 日領 阿武郡大田村

孝行者 日領 大條郡津黄村内野田村

孝行者 日領 萩城下春若町

孝行者 日領 阿武郡椿之村赤分

孝行者 日領 萩城下志免領町

孝行者 日領 萩城下東田町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行録卷之二

百姓 菅原小吉

百姓 庄次郎 寶曆五年 歲不知

町人 辰坊宗久 安永九年

町人 津嶋権吉 安永七年

町人 中村市松 天明三年

百姓 市島左馬 天明四年

百姓 市島左馬 天明四年

百姓 市島左馬 天明四年

町人 阿武彦右馬 天明六年

百姓 久右馬 天明六年

町人 内田吉左馬 天明七年

町人 松七 天明七年

町人 松七 天明七年

町人 松七 天明七年

町人 田村五右馬 天明七年

町人 田村五右馬 天明七年

三三

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

○孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行者 日領 萩城下橋本町

孝行錄卷三十一

町人河上左

町人

百姓吉原馬場

町人

百姓吉原馬場

百姓

百姓

百姓

町人

町人

百姓

百姓

百姓

百姓

百姓吉原馬場

百姓吉原馬場

長松

長松源左衛門

之

重岡若玄揚

之

福松

常丸

常丸

河武三右衛門

常田源次郎

徳松

次郎

長左衛門

三右衛門

之

河上左

天明七年

天明七年

天明七年

天明八年

天明八年

天明八年

天明八年

天明八年

天明八年

天明八年

天明八年

天明八年

天明八年

天明八年

天明八年

天明八年

奇特者

日頃 阿武郡寬谷村由山田村

百姓

子代松

寬政二年 褒賞

孝行者

日頃 阿武郡永年村

百姓

若之節

寬政二年 褒賞

孝行者

日頃 阿武郡小村

百姓皆為妻

山ノ

寬政二年 褒賞

孝行者

日頃 厚校郡地生庄村

百姓

孫友定

寬政二年 褒賞

孝行者

日頃 豐浦郡林田村肥中浦

町人岩崎平世身娘

之ノ

寬政二年 褒賞

孝行者

日頃 荻城下平安吉町

町人

金子權右馬

寬政三年 褒賞

町人前田六右衛門

貞名者

日頃 荻城下獨守町

町人前田六右衛門

子ノ

寬政三年 褒賞

孝行者

日頃 阿武郡地福村

百姓又官席娘

上ノ

寬政三年 褒賞

孝行者

日頃 荻城下所許町

町人

河系林熊推

寬政四年 褒賞

孝行者

日頃 阿武郡椿谷村東分

公田百姓市助娘

出ノ

寬政四年 褒賞

農業出籍

日頃 阿武郡椿谷村松竹作樂村

百姓

八云揚

寬政四年 褒賞

孝行者

日頃 阿武郡福井村

百姓

次郎左衛門

寬政四年 褒賞

孝行者

日頃 阿武郡三見村

百姓

平次郎

寬政四年 褒賞

孝行者

日頃 阿武郡赤松村松竹修善村

百姓

文左衛門

寬政四年 褒賞

孝行者

日頃 阿武郡秋吉村

百姓

甚右衛門

寬政四年 褒賞

孝義錄卷三十一

三十一

孝行者

日領 厚根郡吉田村

百姓

孫玄陽 三十一歲

寬政四年

孝行者

日領 厚根郡山井村

百姓

徳右馬 三十一歲

寬政四年

孝行者

日領 毛利甲斐守領分 豊浦郡田耕之村 角大庭村

百姓

惣吉 三十一歲

天明七年

孝行者

日領 豊浦郡角崎

百姓

長吉 二十八歲

天明七年

孝行者

日領 豊浦郡田耕之村 角大庭村

百姓

九郎左衛門 五十一歲

寬政三年

孝行者

日領 豊浦郡栗地村

百姓

六右衛門 六十五歲

寬政四年

孝行者

日領 豊浦郡赤間村 音日地

百姓 虎助娘

山ノ下 二十一歲

寬政四年

孝行者

毛利候領分 豊浦郡小月村

百姓

五郎左衛門 三十一歲

安永五年

孝行者

日領 豊浦郡阿田村

百姓

音右衛門 三十一歲

天明六年

孝行者

毛利石見守領分 阿武郡大井村

百姓

伊左衛門 歲不知

享保九年

孝行者

日領 日所

伊左衛門

法之 歲不知

日時 褒賞

孝行者  
孝行者  
孝行者  
孝行者  
孝行者  
孝行者  
孝行者  
孝行者  
孝行者

孝行者 前田源次郎

前田源次郎を義乃城下橋本町の商人を父と豆腐を  
 ちきりにうりあわむとすれまひなりしは四年の  
 まより病て床のこころを違は源次郎源次郎歎死  
 志ありぬる薬をこころを違は中あくしては死あり  
 ちきり六つとありは此の父の抱らむるは懐ひくら  
 とてはを死くるとか程りをれつら高野乃道とあ  
 りええ乃ちぬる後にあさるとは数分の川を  
 ちきりこころを違は暑とをなすをこころ  
 日毎小うりあわむとすれまひなりしは四年の

前田源次郎

三十五

多かりきとれ色孔寺那の稚持ひよひも人をも  
 あり小徳をら父久きと痛らうらうたるさ由も  
 あり津をさしめ女抱せりさ於う領主にはり  
 て寛政二年三月獲美の弟とありははよし八歳  
 なることわけて父を次乃年うをけるう哀とれさぬ  
 ありりりのなく中陰の男れつことぬさよれよ  
 むとわりのなりと後とぬく人子は入む伯父は  
 うとらうとも病子ゆして彼う家又書されしこと  
 りむく書と中みく母を心減めさむくゆり金  
 にりぬとわり扱ひし事又も然る小書とせはまれ十月  
 獲美しめ書はありえ母のまうとつひを於りのまこと  
 仍し更に貞直をさし痛ら小買とりしことうふと教  
 りふ乃道あり事と書しめ書とせしなり



孝義錄卷之二十八

...

孝義錄卷之二十八



